

青果物



熊本県 青紫蘇農場株式会社

『海外輸出で紫蘇(しそ)のブランド化に挑む』

【主な品目】

紫蘇(大葉)、紫蘇加工品

【主な輸出先国・地域】

香港、シンガポール、英国、フランス

【輸出取組の概要】

- ◆ 平成18年より香港最高級小売店「シティスーパー」向け紫蘇(大葉)を輸出開始。
- ◆ 平成19年よりシンガポールへ紫蘇(大葉)及び紫蘇ジュースを輸出。
- ◆ 上記取組の後、米国、ドバイ、英国、フランスに紫蘇(大葉)や紫蘇加工品を輸出。

【輸出実績】(平成18年より輸出開始)

	輸出額(万円)	輸出量(kg)	出荷時期
平成29年度	400	600	通年
平成28年度	300	500	
平成18年度	1000	1500	

【効果があった取組】

定期的に各国を訪問



計測センサー・モニターカメラ
管理用アプリ



紫蘇の加工商品開発

【取り組む際に生じた課題】

- ・ 平成16年から輸出に取り組み、当初は輸出に関する知識やノウハウがまったく無かったため、JETRO、各国の県人会等を通じて情報を集め、現地商談会への出展や、市場調査等を行った。
- ・ 世界的な日本食ブームの中でとりわけ寿司がブームとなったこともあり、大葉や妻ものに勝機があった。

【生じた課題への対応】

- ・ JETROの事業を利用した輸出への取組み。
- ・ アメリカ、シンガポール、イギリス、フランス、韓国、ベトナム、台湾のスーパーでのテスト販売。

【対応の結果】

- ・ アメリカ、香港、シンガポール、イギリス、フランス、韓国、ベトナム、台湾での販路開拓に成功。
- ・ 施設野菜では日本で初めて「生産情報公表JAS規格」認定を取得。安定した生産を確保することに成功。

【今後の課題・展望】

- ・ 輸出するときに相手国の現地市場調査を経営者本人の目でしっかり行い、自分の農作物の販路を十分知る必要がある。



生産情報公表JAS規格の
農産物識別番号

【活用した支援・施策】平成20年「先進的総合生産工程管理体制構築事業」、JETRO支援の商談会

【ウェブサイト】<http://shiso.net/index.html>

【連絡先】担当者名: 吉川 幸人、TEL: 096-242-4878